

2015年3月期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2015年5月8日

2014年度 通期 連結業績

(億円)

	13年度	14年度			前期比 (%)	期初 業績予想	達成率 (%)
	通期	上期	下期	通期			
売上高	1,445	774	833	1,607	+11.2	1,600	100.4
デバイス	1,120	615	650	1,265	+12.8	1,243	101.8
PM	158	75	81	156	-1.3	172	90.7
PS	166	84	102	186	+11.2	185	100.5
営業利益	78	52	60	112	+43.6	120	93.3
経常利益	76	50	54	103	+35.5	106	97.2
当期純利益	50	35	44	79	+58.0	79	100.0

※ 前期比及び達成率は本表に示した億円単位の数値から算出
13年度デバイス売上高にはCCFL売上高「1」を含む



2015年度 通期業績 予想

(億円)

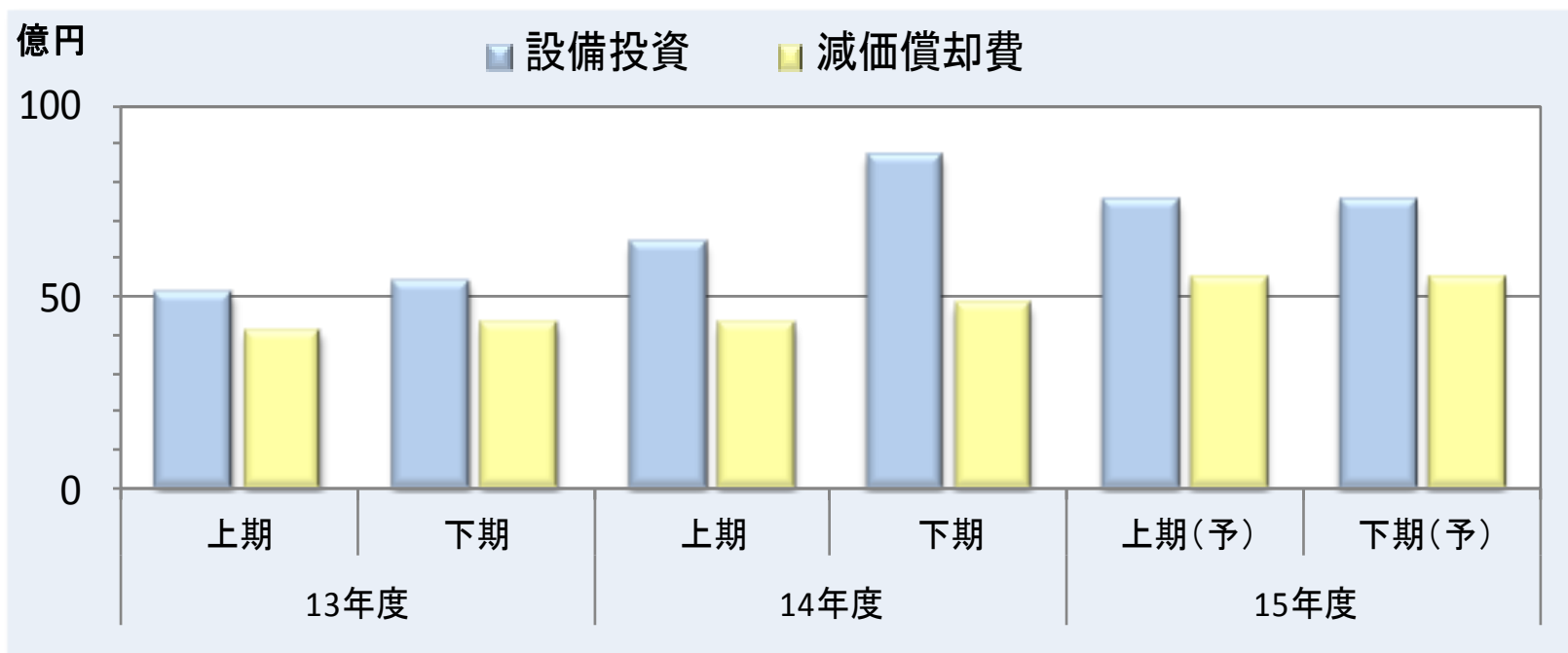
	14年度 実績			15年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	774	833	1,607	830	890	1,720	113	7.0
デバイス	615	650	1,265	664	690	1,354	89	7.0
PM	75	81	156	86	86	172	16	10.3
PS	84	102	186	80	114	194	8	4.3
営業利益	52	60	112	57	73	130	18	16.1
経常利益	50	54	103	51	66	117	13	12.5
当期純利益	35	44	79	33	48	81	2	2.5

・ 為替レート: 110円/US\$

※ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出



設備投資・減価償却費



15年度 設備投資 150億円 (国内50)、減価償却費 110億円 (国内50)

国内	海外
石川 : 車載・白物向け増産、生産性向上投資	PSL : FabⅢ 8インチ フェーズ1
山形 : 8インチ 増強	AML : AMPIセンサー増産、タイ工場立上げ
福島 : プローブ工程増強、LED新PKG	大連 : 車載・白物ライン増強
	SKI : 車載ライン増強

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。